

笛吹市 議会だより

令和3年10月23日発行

2021

Vol.68



- 会期日程・議会日誌 ② 質疑および一般質問 ⑮
- 提出案件一覧表 ③ 追加議案 ⑲
- 令和2年度決算状況 ④ 委員会レポート ⑳
- 決算に対する監査意見 ⑥ 議会要望受付期間延長 ㉓
- 質疑および代表質問 ⑦ 市民リレートーク/編集後記 ㉔

9月議会・会期日程

9月3日（金）議会運営委員会
全員協議会

9月10日（金）

■開会

●本会議

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・市長施政方針

・提出議案の説明

・決算審査報告

9月21日（火）

●本会議 質疑及び代表質問

9月22日（水）

●本会議 質疑及び一般質問
委員会付託

9月27日（月）

～10月1日（金）

・各常任委員会（付託事件審査・決
算認定）

10月5日（火）

●本会議

・議会運営委員会、全員協議会

●本会議（委員会審査報告・討論・
採決）

採決

・追加議案の説明・質疑・委員会
（付託・審査・審査報告）・討
論・採決

●本会議

●本会議

●本会議

議会日誌 GIKAI diary

6月 June

1日 議会見学（八代小学校）

3日 議長経験者の会総会

7日 議会運営委員会、議会全員協議会

議会広報編集委員会

8日 議会見学（八代小学校）

10日 質疑・質問通告期限

通告確認会議（通告確認及び許可）

11日 大文字焼き実行委員会

乙黒選手激励会

14日 第2回定例会本会議（開会）

22日 第2回定例会本会議（一般質問・付託）

23日 第2回定例会本会議（一般質問）

24～25日 議会常任委員会

28日 第71回笛吹市「社会を明るくする運動」推進大会

30日 議会運営委員会、議会全員協議会

第2回定例会本会議（最終日）、議会広報編集委員会

7月 July

5日 議会広報編集委員会

峡東地域広域水道企業団 全員協議会

峡東地域広域水道企業団 臨時議会

8日 第24回全国鵜飼サミットin 笛吹

12日 甲府市議会正副議長挨拶

15日 JAフルーツ山梨春日居支所果実部桃品評会

19日 教育厚生常任委員会視察

笛吹市モモせん孔細菌病防除対策本部第4回会議

20日 東山梨行政事務組合 全員協議会

東山梨行政事務組合 臨時会

笛吹川石和鵜飼開き

21日 西関東連絡道路整備促進期成同盟会監査

27日 FUJIYAMAツインテラスオープニングセレモニー

議会全員協議会

8月 August

4日 山梨県市議会議長会議員合同研修

教育厚生常任委員会

11日 議会広報編集委員会

23日 笛吹市シルバー人材センター要望書議会提出

26日 東八代広域行政事務組合議会 全員協議会

東八代広域行政事務組合議会 定例会

令和3年9月定例議会提出案件一覧表

○賛成 ●反対
 討(討論があった場合)
 (保坂利定議長を除く)

種別	案件名	笛新会			新風会			誠和会	公明党	笛政クラブ	日本共産党	無党派	結果									
		海野利比古	保坂利定	神宮司正人	荻野謙一	神澤敏美	武川則幸	落合俊美	岡由子	山田宏司	河野正博	小林始		中村正彦	渡辺清美	中川秀哉	前島敏彦	古屋始芳	渡辺正秀	河野智子	野澤今朝幸	
報告	令和2年度笛吹市財政健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率の報告																					
条例制定改正	・ 笛吹みんなの広場条例の制定	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 過疎対策のための固定資産税の免除に関する条例の一部改正	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 芦川地区過疎地域活性化基金条例の一部改正	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度補正予算	・ 一般会計補正予算(第5号)																					
	・ 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)																					
	・ 介護保険特別会計補正予算(第2号)																					
	・ 介護サービス特別会計補正予算(第1号)																					
	・ 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)																					
	・ 農業集落排水特別会計補正予算(第1号)																					
	・ 境川観光交流センター特別会計補正予算(第1号)																					
	・ 森林経営管理特別会計補正予算(第1号)																					
	・ 黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 大積山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 稲山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 大口山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 崩山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 名所山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
・ 春日山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
・ 兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
・ 水道事業会計補正予算(第2号)	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
・ 一般会計補正予算(第6号)	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
令和2年度決算認定	・ 一般会計歳入歳出決算認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 介護サービス特別会計歳入歳出決算認定		議																			
	・ 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定		長																			
	・ 農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定																					
	・ 境川観光交流センター特別会計歳入歳出決算認定																					
	・ 森林経営管理特別会計歳入歳出決算認定																					
	・ 黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・ 大積山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・ 稲山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
・ 牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
・ 大口山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
・ 崩山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
・ 名所山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
・ 春日山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
・ 兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
・ 水道事業会計決算認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
・ 公共下水道事業会計決算認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
・ 市営春日居地区温泉給湯事業会計決算認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
・ 簡易水道事業会計決算認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他	・ 変更契約の締結(笛吹みんなの広場整備工事(債務))	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 笛吹市過疎地域持続的発展計画の策定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 字の区域の変更	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	・ 市道認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 契約の締結(浅川中学校校長寿命化改修工事(建築)(債務))	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議	・ 契約の締結(浅川中学校校長寿命化改修工事(機械設備)(債務))	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ コロナ禍による厳しい財政状況に対し地方税財源の充実を求める意見書の提出	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議決	・ 加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ (加齢性)難聴者の補聴器購入に係る負担軽減を求める請願書	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	
議決	・ 加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ (加齢性)難聴者の補聴器購入に係る負担軽減を求める意見書の提出	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

用語解説 ※1 請願とは……住民が市政等について直接市議会に要望できる制度。(必ず議員の紹介が必要)
 ※2 意見書とは……議会としての意見や希望を意見書として内閣総理大臣、国会、関係行政庁に提出することができる。住民代表である議会の総意として尊重される。

令和2年度一般会計決算

歳入総額 429億7,785万円

歳出総額 405億8,379万円

令和2年度決算 おもな使いみち

笛吹市が独自におこなったコロナ関連事業
総額8億8,050万円



国や県の支援策が届かない、あるいは手厚くする必要のある方々に対し、笛吹市独自の支援を行うことを基本として、38事業を実施した。

新道峠展望台整備事業

1億2,331万円



世界文化遺産である富士山の絶景を楽しめる展望施設及び周辺道路を整備することにより笛吹市の観光拠点の一つとする。

小中学校ICT関連機器等導入事業

4,347万円



ICTを活用した授業の充実を図る。市内の小中学校を対象にタブレットパソコン、デジタル教材等の整備を行う。

ふるさと納税事業

5億1,830万円



令和2年度は、ふるさと納税寄附金として、11万5,237件、14億1,606万円の寄附があり、令和元年度に比べて大幅な収入増となった。

笛吹市農業塾推進事業

675万円



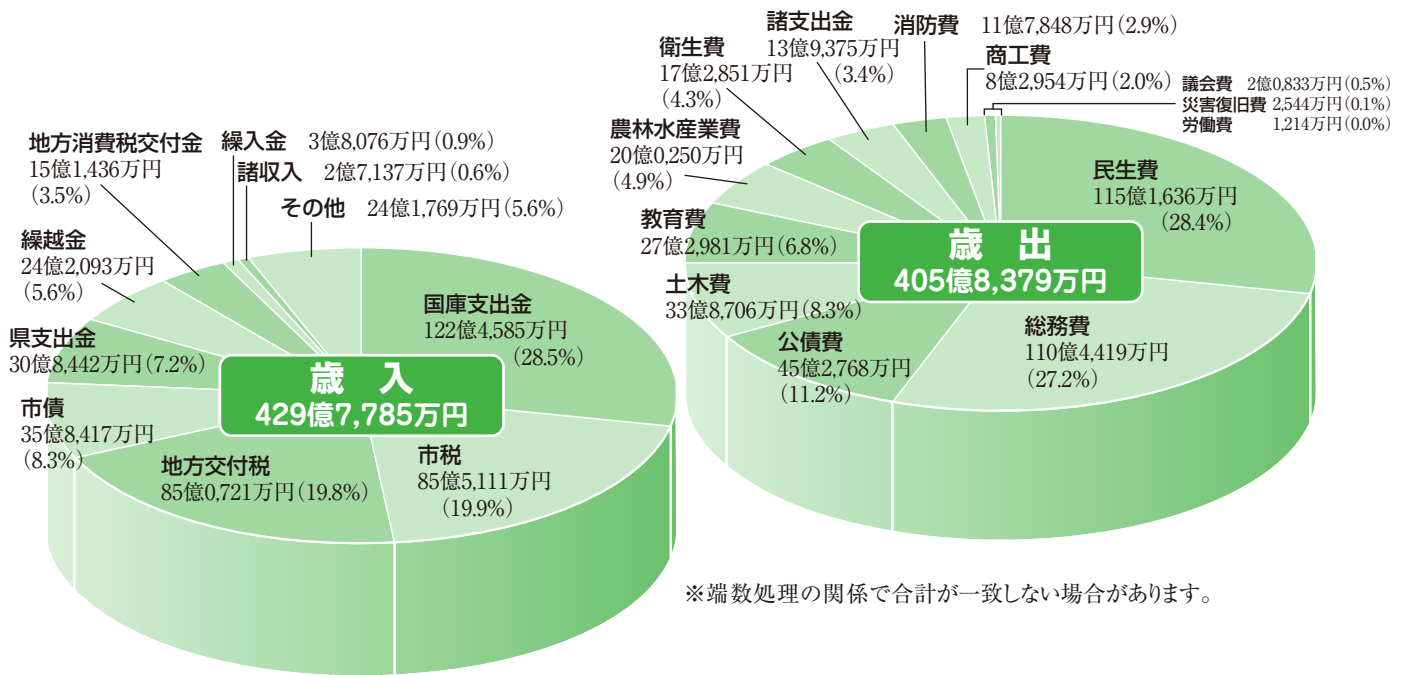
地域農業の維持と発展を図るため、関係機関と相互連携し効果的・効率的な農業支援体制を整備する。

LED防犯灯交換費補助事業

4,191万円



行政区が管理する防犯灯の電気料金の節減及び器具の長寿命化による環境負荷の低減等を図る。



歳入

- 市税** ☆市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など
- 地方消費税交付金** ☆国が所得税、法人税などの国税の一定割合を市の財政力に応じて交付するもの
- 地方交付税** ☆国が所得税、法人税などの国税の一定割合を市の財政力に応じて交付するもの
- 国庫支出金** ☆国から交付される補助金など
- 県支出金** ☆県から交付される補助金など
- 市債** ☆道路や施設などを整備するための市の借金
- その他** ☆財産収入、寄付金など

歳出

- 総務費** ☆交通・防災の安全対策、広報活動、庁舎の管理など、戸籍事務、選挙などの経費
- 民生費** ☆老人福祉、児童福祉、障害者福祉など
- 衛生費** ☆子育て支援、環境衛生、疾病予防、水道などの経費
- 農林水産業費** ☆農業・林業等の振興及び整備
- 商工費** ☆商工業の振興・観光振興
- 消防費** ☆消防、災害復旧
- 教育費** ☆小中学校の教育環境の整備、スポーツ・生涯学習など
- 公債費** ☆市債を返すための費用
- 諸支出金** ☆基金への積み立て
- その他** ☆議会運営費など

特別会計・事業会計決算状況

会計名		歳入(収入)	歳出(支出)
国民健康保険特別会計		82億2,573万円	77億8,507万円
介護保険特別会計		73億6,169万円	69億2,334万円
介護サービス特別会計		1,189万円	885万円
後期高齢者医療特別会計		15億4,919万円	15億3,530万円
農業集落排水特別会計		6,656万円	4,296万円
笛吹市境川観光交流センター特別会計		1億4,918万円	1億2,496万円
森林経営管理特別会計		1,523万円	1,033万円
恩賜県有財産保護財産区管理会(9特別会計)		7,286万円	598万円
水道事業会計	収益的収入及び支出	17億5,324万円	16億6,467万円
	資本的収入及び支出	5億9,919万円	10億4,343万円
春日居地区温泉給湯事業会計	収益的収入及び支出	6,491万円	5,112万円
	資本的収入及び支出	0円	308万円
公共下水道事業会計	収益的収入及び支出	19億6,757万円	18億5,975万円
	資本的収入及び支出	9億2,513万円	15億8,104万円
簡易水道事業会計	収益的収入及び支出	2,657万円	2,092万円
	資本的収入及び支出	460万円	462万円

令和2年度決算に対する監査意見

代表監査委員 横山祥子

令和2年度の一般会計・特別会計

決算および水道事業会計、春日居地区温泉給湯事業会計、公共下水道事業会計、簡易水道事業会計等について、審査に付された決算書および提出された審査資料に基づき、審査を執行した結果、それぞれ関係法令に準拠して作成されており、決算計数はいずれも関係帳簿、証ひょう書類と符合し、かつ正確であると認められた。また、決算の内容、予算執行についても適正妥当であると認められた。

(国民健康保険特別会計)

滞納世帯に対しては、明確な基準を設け適正に対応し、収入未済額が縮減されるよう、より一層、徴収の強化をお願いする。

(介護保険特別会計)

保険事業の安定継続のため、収納率向上と不納欠損額の縮減に努められたい。

(介護サービス特別会計)

事業成果の検証を怠ることなく、常に利用者に適したサービスの提供に努められたい。

(後期高齢者医療特別会計)

保険料は制度を支える重要な財源であり、滞納縮減に向けた更なる努力をお願いする。

(農業集落排水特別会計)

施設等の維持管理、起債の償還が歳出の主なものだが、未収金は公平性の面から収納対策をお願いする。

(境川観光交流センター特別会計)

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分に行い、利用者定着と新たな利用者の獲得を目指し、利用状況の検証と運営方法の見直しを望む。

(森林経営管理特別会計)

事業を円滑に進め、災害防止や地球温暖化防止などのため、森林の公益的機能の適正な管理を望む。

(財産区管理会、特別会計)

財産区の管理体制は、構成員の高齢化が進み管理が難しい状況だが、貴重な資源の保護・災害対処のためにも、努力をお願いする。

(財産に関する調査)

基金運用の安全性を確保するため、金融機関の経営状況等の信用格付情報を入力し、慎重な運用に心掛け適正な管理が行われている。

(基金運用状況に関する調査)

土地開発基金の運用状況は、規程に基づき適正な管理が行われている。

(水道事業会計)

水道事業の業務実績をみると、給水世帯数は前年度比で増となっており、総配水量と有収水量は前年度比で減となっているが、依然として厳しい経営状況にある。実質的な収益の向上と安定経営に向け努力し、将来的な人口減社会を見据え、公営企業として健全な事業経営を遂行されるよう望む。

(春日居地区温泉給湯事業会計)

温泉給湯事業は収益増が見込めない中、施設の維持管理に向けた事業費用の増加も予想されるため、将来を見据えた事業経営を遂行されるよう望む。

(公共下水道事業会計)

企業債残高が130億円余あり、決算額の大きな割合を占めている。一般会計からの多額の基準外繰入金に依存している現状である。業務の改善、合理化等による経費の削減に努め、公営企業として健全な事業経営を遂行できるよう望む。

(簡易水道事業会計)

供給単価の適正化を進め、健全な経営の遂行と、上水道料金との公平性についても改善に向けた検討を引き続き行うよう望む。

(財政健全化比率等)

今後も健全な財政基盤の確立のため、歳入と歳出のバランスを図りながら、長期的な視野に立った財政運営が推進されるよう望む。

- 1、事務処理の適正化
- 2、危機管理体制の確立
- 3、戦略的な観光施策の実施

9月定例議会では、6会派を代表して6人の議員が代表質問に立ちました。以下の記事は代表質問と答弁を要約したものです。

- 笛新会 武川 則幸議員 …7
- 新風会 河野 正博議員 …9
- 誠和会 小林 始議員 …11
- 公明党 渡辺 清美議員 …13
- 笛政クラブ 古屋 始芳議員 …13
- 日本共産党 渡辺 正秀議員 …15



笛新会

武川 則幸 議員

問 山下市政の基本姿勢は

武川則幸議員

- ① 第2次笛吹市総合計画実施計画は。
- ② 笛吹市4次地域福祉計画の検討状況は。
- ③ 笛吹みんなの広場整備工事と完成後の管理は。
- ④ 行政区運営交付金見直しの内容は。

制度への移行を予定。

- ④ 他市に比べ突出して高額なため、適正な水準に是正したい。令和6年度までに、総額で25%減を予定。

問 新型コロナウイルス感染症対策は

武川議員

- ① 65歳以上のワクチン接種状況と、64歳以下の予約状況は。
- ② 18歳以下の児童生徒に対するワクチン接種計画は。
- ③ 副反応による健康被害の状況は。
- ④ 生活福祉資金特別貸付の総合支援資金と緊急小口資金の貸し付け実績は。
- ⑤ 地域振興券配布の計画は。

答 ワクチン接種を進める

山下市長

- ① 65歳以上は、9月15日現在、1回接種率91・4%、2回接種率89・6%。64歳以下の予約は9月10日現在、接種済みも含めて67・5%。
- ② 9月15日から予約を開始し、10月2日から接種予定。
- ③ 9月8日現在、医療機関から厚労省に報告された市民に係る事例は25件。予防接種健康被害救済制度に基づく市への相談は6件、申請は1件。
- ④ 総合支援資金は、延べ1、729件、9億2、095万円。緊急小口資金は1、234件、2億1、903万円。
- ⑤ 「がんばろう笛吹！応援商品券事業」で1万円分の商品券を支給する予定。

答 SNSを積極的に活用

山下市長

- ① 自然体験や農業体験など、市独自のプログラムや、年間を通して魅力あるイベントを実施し、宿泊を伴う観光の目的地としての価値を高める。
- ② 6月から8月までの消費喚起キャンペーンは、決済総額が19億円となり、大きな経済効果が生まれた。
- ③ SNSを活用した情報発信を継続的に行うとともに、オンライン商談会などを通じ、積極的にPRしていく。

問 令和2年度決算は

武川議員

- ① 重点事業の実施状況は。
- ② 決算の評価は。
- ③ 財政健全化法に基づく各種指標は。
- ④ 財政融資資金の借入残高は。
- ⑤ 財政調整基金の現在高と今後の運用・積み立ては。

答 総合計画の後期実施計画を策定中

山下政樹市長

- ① 今年度、令和7年度までを計画期間とした後期の実施計画を策定する。
- ② 12月に第3回の計画策定審議委員会を開催し、1月以降にパブリックコメントを実施する予定。
- ③ 11月20日にオープニングイベントを予定。当面は直営、将来的には指定管理者

- ④ 生活福祉資金特別貸付の総合支援資金と緊急小口資金の貸し付け実績は。
- ⑤ 地域振興券配布の計画は。

問 産業・観光振興は

武川議員

- ① 石和・春日居温泉郷存続のための具体的な対策は。
- ② 飲食産業振興のための補



⑥自主財源確保と税金・料金の収納状況は。

答 コロナ対策のため 過去最高額に

山下市長 ①17事業は年度内に完了。7事業は次年度に繰り越し。コロナの感染拡大の影響で3事業を中止

②歳入歳出ともに過去最高の決算額となった。

③実質赤字比率、連結実質赤字比率については、黒字実質公債費比率は9・1%、前年度より1・7%改善。将来負担比率は24・9%、前年度より23・1%改善。

④総額255億6、838万円。内訳は臨時財政対策債115億4、924万円、過疎対策事業債8億7、673万円、水道事業費54億4、156万円、下水道事業債61億2、835万円。

⑤37億2、870万円。年度末の基金残高見込みは25億6、351万円。

⑥ふるさと納税寄附額は、前年度より11億7、628万円増の14億1、606万円。企業誘致などによる市

代表質問

税の増収や、利用していない普通財産の売却処分などを行い、自主財源確保に努める。市税収納率は0・1%の減少、各種料金収入は全体で1・0%上昇した。

問 子育て環境の 充実は

武川議員 ①ヤングケアラ

①に対する取り組みは。
②病児・病後児保育施設「そらいろ」の運用状況は。
③民間プールを使った水泳授業の利用人数や指導は。



病児・病後児保育施設「そらいろ」(一宮温泉病院)

④ICT機器利活用にかかわる研究会などの実施は。

⑤デジタル教科書実証事業と小中学校の対応は。
⑥Wi-Fi環境のない家庭への対応は。

⑦学校給食費の完全無償化は。
⑧給食費の収納事務は。

答 実態を把握し 的確に対応

山下市長 ①県の実態調査

も踏まえ、支援を検討。
②5月6日の開所から8月末までの延べ利用者は未就学児72人、小学生4人の合計76人。

③5月下旬から32日間、小学校3校の513人を対象に実施。インストラクターも参加し、きめ細かく指導。

④6月に、校長会などで構成する市学力向上研究委員会や市ICT連絡会議を開催した。各学校では校内研究会を開催し実践的な授業研究に取り組んでいる。

⑤市内小中学校16校が実証実験の指定を受け、従来の教科書とデジタル教科書を使い授業を行っている。

⑥市がルーターを貸し出し対応する。

⑦現時点では考えていない。全国状況を注視する。
⑧来年度からの公会計化に向け、準備を進めている。

問 農業振興 農地の確保は

武川議員 ①担い手への集

約面積、耕作放棄地の解消面積、農地中間管理権の取得・貸付け状況は。
②特定農地貸付け法に規定される貸付け期間の緩和は。
③農家育成を図る上で、販売方法についての市の対応は。

答 耕作放棄地解消 に努める

山下市長 ①担い手への集

積面積は、平成24年度1、339畝から令和2年度1、876畝。耕作放棄地解消面積は、毎年1畝前後で推移。中間管理機構が取得した農地中間管理権は、

延べ117畝で、すべて農業者に貸し付けられている。
②農業塾で技術講習会を開催、10アールから農地の利

への参入支援をしているため緩和は考えていない。

③新規就農者の就農計画、認定農業者の農業経営改善計画の策定相談、指導を行う中で、個々の農業者の経営安定と成長につながる販売方法をともに考え、就農や経営改善の支援に取り組んでいる。

問 防災対策は

武川議員 ①コロナ禍を契

機とした避難の見直しと、市民への「避難指示」の告知は。
②避難所運営に伴う避難者名簿の見直しは。
③熱海市の大規模土石流を受けた市の対応は。
④中小河川の治水工事計画と立木などの伐採対策は。

答 重点的に取り組む

山下市長 ①新型コロナウ

イルス感染症対策により、指定避難所の収容人数は、8、303人が4、540人と約半分に減ったため、

令和2年7月に「災害発生



時の避難方法」の冊子を全戸配布し、安全な親戚や知人宅への避難について周知。令和3年7月に改定版を全戸配布し、災害発生時に時系列でとるべき対応などを周知。

②長期避難が予想される場合、避難者一覧を作成。

③山沿いの盛土造成地など3カ所、ため池2カ所、太陽光発電施設4カ所の調査を実施。

④市管理の準用河川は、西田川、寒川で改修事業を行い、必要に応じて、伐採やしゅんせつを実施。



笛吹市指定避難所「みさかの湯」(御坂町成田)

問 環境推進対策は

武川議員 ①市災害廃棄物処理基本計画の策定は。

②ごみ袋減額によるリバウンド抑制策と収支予測は。

答 生ごみの減量化に協力を

山下市長 ①現在、廃棄物発生量の算定、仮置き場の選定を行っている。今年度中に計画を策定する予定。

②市で実施している「可燃ごみ組成調査」では、全体の43%を生ごみが占めている。生ごみを減らすことが全体の減量につながるため、抑制策の一つとして、10月1日から家庭用生ごみ処理機等補助金を増額する。減額に伴う収支予測は、今年度は約2,500万円、来年度以降は約4,000万円の収入が減少すると試算。

問 過疎法への対策は

武川議員 市の過疎地域持続的発展計画の内容は

答 芦川地域の持続的発展を目指す

山下市長 新道峠展望台・周辺整備、送迎バス運行、すずらの里改修、芦川グリーンロッジ改修などを主な事業とし、芦川地域の持続可能な地域づくりを進める。

問 文化財保護は

武川議員 文化財保護法の改正で、これまで対象外だった無形文化財や無形民俗文化財が登録対象に加わり保護される。観光振興などに生かす考えは。

答 観光資源に広く活用されることを期待

山下市長 市内の伝統文化や食文化の登録が、地域づくりや観光資源として広く活用されることが期待されるところ。登録制度の周知を図るとともに、登録に向けた支援をしていきたい。

問 ドローンの活用は

武川議員 災害現場の把握、有害鳥獣対策などへのドローンの活用が期待される。市の考えは。

答 先進事例を参考に検討

山下市長 先進自治体の実証実験や導入事例を参考に、活用を検討する。



新風会

河野 正博 議員

問 令和2年度決算は

河野正博議員 ①増額決算となった主な施策は。

②市が独自に行ったコロナ対策の決算額、内容は。

③基金の取り崩しで対応した施策は。

④令和2年度の基金現在高の増加要因は。

⑤令和3年度における基金の見通しは。

山下市長 ①特別定額給付金など、新型コロナ対策事業に82億1,600万円支出。笛吹みんなの広場整備など、普通建設事業費が13

億8,642万円増加。ふるさと納税寄附金の大幅な増額に伴い、まちづくり基金積立額が10億8,552万円増加した。

②市独自で、38事業に総額8億8,050万円を支出。小規模事業者に10万円を支給し事業継続を支えた。ホテル・旅館に対する「宿泊料金割引事業」、困窮する大学生等を対象に「大学生等学業継続支援事業」、小中学生の給食費を6カ月間無償にした「学校給食無償



化事業」などを実施した。

- ③ 公共施設整備等基金は、八代庁舎外壁工事など19事業に1億2、782万円、まちづくり基金は、保育所の防犯カメラ設置など13事業に1億7、639万円、芦川地区過疎地域活性化1号基金は、3事業に172万円を充当。
- ④ 前年度に比べ11億7、628万円の増額となったふるさと納税寄附金を、基金に積み立てたことによる。
- ⑤ 9月補正後の予算現額から推計すると、基金積立金合計額は19億7、866万円、基金繰入金合計額は34億2、968万円となり、令和3年度末の基金残高は14億5、102万円減少する見込み。しかし、前年度は13億4、332万円を取崩し額として計上していたものの、実際は取崩しが多かった経過を踏まえると、令和3年度決算時の取崩し額は、見込額よりも少なくなるものと考えている。

問 多目的芝生グラウンド計画は

- 河野議員** ①多目的芝生グラウンドの位置づけは。
 ②対象とするスポーツは。
 ③既存グラウンドや多目的芝生広場とのすみ分けは。
 ④大きさ、予算、完成予定などの概要は。
 ⑤市民との合意形成は。

答 まちづくりの核とする

山下市長 ①②③既存の土のグラウンドとは異なり、新たな機能を有する多目的芝生グラウンドとして多くの競技で利用できるようにしたい。ラグビー、グラウンドゴルフ、ターゲット・バードゴルフ、フライングディスク、ゲートボールなどでの利用を想定している。既存グラウンドと利用のすみわけがされ、既存のグラウンドも利用しやすさが向上すると考える。清流公園の芝生広場は、レクリエーション、野外コンサートなどのイベントでの利用を前提としており、用途が異なる

代表質問

ると考えている。
 ④ 検討委員会で検討していく。現時点では示せない。
 ⑤ 基本計画の策定が一定程度進み、示せる段階で説明の機会を設ける。来年1月ころを予定。

問 市民の安全を守る、遊休農地や空き家対策は

- 河野議員** ①遊休農地の現状は。
 ②農地中間管理機構の権限強化は。
 ③耕作放棄地、荒廃農地に対する行政指導強化のため条例などの検討は。
 ④空き家、廃屋の現状は。
 ⑤空き家、廃屋に対する新たな条例などの検討は。

答 空き家解体費に補助金交付

山下市長 ①平成30年度の203・9軒から、令和2年度の240・2軒と年々増加している。
 ②中間管理事業推進のため、基盤整備や担い手支援などの総合的な対策が図られるよう、県に対して働きかけを行っていく。

③ 「笛吹市あき地に繁茂した雑草等の除去に関する条例」で、雑草等を除去するために必要な事項を定めている。今後は、雑草が繁茂する空き地の所在地や周辺環境に応じた区分、管理不良状態の判断基準、対処方法などを明確にしていく。
 ④ 適切に管理されていない空き家は、生活環境に深刻な影響を及ぼすものとして認識している。このため、所有者に適切な管理を依頼・通知する。場合によっては、市の空家条例に則り、緊急安全措置を行うなどの対策を講じている。
 ⑤ 新たな条例は考えていないが、今年度、所有者自らが解体していただけるよう、空家等解体費補助金交付要綱を施行した。

問 公共工事の工期遅延と対策は

- 河野議員** ①遅延挽回のための中間検証および大型工事の総括は。
 ②工期遅延の改善策は。
 ③外部専門的知見の導入による、正確な事前調査は。

④今後の大型工事への反映は。

答 計画的な発注、適切な進行管理に努める

山下市長 ①定期的に工程会議で進捗状況を確認し、やむを得ない場合のみ、工期を延期している。
 ②必要に応じ実施工程表を見直し、進行管理を行う。
 ③現在も専門的な能力を有する業者に委託している。
 ④計画的な発注、適切な進行管理を行う。

問 令和2年度の防災対策は

- 河野議員** ①決算額と主な施策は。
 ②「自助・共助・公助」の連携についての考え方は。
 ③市役所主導から行政区主導の避難所運営は。
 ④ガス、水道、電気、道路などの民間事業者を含めた防災協議の状況は。
 ⑤水防倉庫廃止後の対策は。

答 備蓄倉庫などを整備した

山下市長 ①防災対策に係

る決算額は、4、063万円。指定避難所防災備蓄倉庫整備、災害備蓄品購入、備品整備への補助金交付、芦川ヘリポート整備の測量、防災無線の維持管理などを実施した。

- ②災害発生直後は命と財産を守る「自助」、安全を確保した後、近隣と助け合う「共助」、最後に「共助」で対応できない役目を市役所などによる「公助」が担うべきと考える。
- ③災害発生時、市が行う応急対応業務は急激に増大するため、避難所運営を行政区に変えることは有効。今年度策定する地区防災計画に避難所の運営についても記載する。
- ④民間事業者や団体と協定を締結し、災害時の協力体制を確保している。今後は防災訓練などへ参加していただき、連携を密にしている。
- ⑤今後は水防備蓄倉庫を整備拡充していく。



誠和会

小林 始 議員

問 令和2年度決算状況は

小林 始議員

- ①特に成果が上がった事業は。
- ②コロナ感染拡大により中止、縮小された事業と来年度以降の実施は。
- ③令和2年度のふるさと納税寄付額の内訳は。

答 コロナの影響で未執行は2億7千万円

山下市長

- ①新型コロナウイルス感染症対策として、国や県で実施した支援策が届かない、あるいは手厚く支援する必要がある方々に対して、市独自の支援策を実施した。主な事業としては「小規模事業者支援金給付事業」、「宿泊料金割引事業」、「大学生等学業継続支援事業」、「学校給食費無償化事業」および「小中学校

等水道自動水栓化事業」などで、事業者支援および生活支援ならびに感染防止対策が適切かつ効果的に行えたものと考ええる。

- ②中止になった主な重点事業は「全国鶴飼サミット事業」、「学校プール民間活用モデル事業」、「県立博物館特別企画展事業」。「農産物等消費拡大宣伝事業」は縮小して行った。未執行分の予算額は約2億7、000万円。

来年度以降については、今後の感染拡大の状況などを考慮し、事業ごとに検討していく。

- ③11万5、237件、14億1、606万円の寄付があった。内訳は「実り多い産業と人々が集うまちづくり」に

4億3、994万円、「環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり」に1億4、342万円。「地域の将来を担う子どもたちの健全育成」に3億3、243万円。「その他市長が必要と認める事業」に5億27万円。

問 新型コロナウイルス対策は

小林議員

- ①市内の感染者数とクラスターの状況は。
- ②感染者の年齢構成と感染時期の特徴は。
- ③感染者の重症度とワクチン接種の状況は。
- ④高齢者のワクチン接種状況は。
- ⑤今後の接種スケジュールは。
- ⑥保育所・小中学校・学童クラブの感染予防対策と感染が確認された場合の対応は。
- ⑦学校の教職員、保育所や学童の職員の接種状況は。

答 11月中旬に2回目接種を終了させる予定

山下市長

- ①9月2日現在、

感染者は累計で358人。クラスターは、7月に市内の製造業者で1件発生した。

- ②1月から3月までの県全体の感染者の年齢構成は、10代以下が13・5%、20代・30代が29・2%、40代・50代が27・7%、60歳以上が29・7%だったが、4月以降は感染力の強い変異株の流行で、10代・20代の若い世代の割合が増加している。
- ③個別の状況は公表されていない。
- ④9月15日現在、65歳以上で2回目接種済は89・7%、70歳代89・7%、80歳代90・6%、90歳以上89・8%。
- ⑤現在、対象となる12歳以上の市民、すべての予約を受け付けている。11月中旬は、希望者全員に2回目接種を終了する予定。
- ⑥保育所・学童保育クラブは、県のガイドラインに基づき、感染予防対策を徹底している。感染確認された場合、峡東保健所の指導を受け、施設閉鎖、利用制限、施設内消毒を実施する。



小中学校は国の衛生管理マニュアルに基づいて、地域の感染レベルに応じた予防対策を講じながら、授業や行事、部活動などを実施している。感染確認された場合、保健所や学校医からの指導を受け、市教委が学校と協議して、学年閉鎖や休校措置をとる。

⑦優先枠を設けてワクチン接種を行った。9月10日現在、保育所職員の接種率83・6%、学童保育80・3%。教職員は9月8日現在、88・7%。

問 今年度の重点事業は

- 小林議員** ①笛吹みんなの広場の利用計画などは。
②新道峠展望台への送迎バス運行実績などは。
③多目的芝生グラウンド整備事業の庁内会議や検討委員会での検討内容は。
④モモせん孔細菌病防除対策は。
⑤ブドウの被害は。

答 果樹の病害対策などに努める

山下市長 ①11月20日にオプニングイベントを開催する予定。イベントなどで使用する場合の利用手続きは、1カ月前の申請が必要。利用料等は、利用しやすい設定を予定している。将来的には指定管理者制度の導入を目指している。

- ②9日間で、延べ1、072人の利用があった。
③関係課職員で構成する「多目的芝生グラウンド整備検討プロジェクトチーム」を編成し、基本計画の策定に伴う課題を検討している。多目的芝生グラウンド整備基本計画検討委員会については、現在、第1回会議の開催に向けて、準備を進めている。
④地域ぐるみの一斉防除の徹底で、出荷への影響はほぼない状況だった。防除実績は、令和2年の生育期・秋季は932鉢、令和3年春季は730鉢が薬剤補助の対象となった。今年度予算で、令和4年春季一斉防

代表質問

除の薬剤補助を行う。それ以降は、発生状況を把握して随時対応する。

⑤8月以降の長雨で、晩腐病、ベト病、玉割れの発生が見られる。巨峰やシャインマスカットなどの主力品種で、出荷量の減少が懸念される。JAなどの関係機関と連携し、早期に被害調査を行い、状況によっては国および県に必要な要望を行う。

問 消費喚起キャンペーンは

- 小林議員** ①支出見込額と財源内訳は。
②参加事業者の当初の募集方法ならびに追加店舗数などは。
③市内外の利用者の比率と金額は。
④1店舗当たりの利用限度額は。
⑤発生した問題点は。
⑥今後、PayPayの継続予定は。
⑦さらなる経済対策は。

答 806事業者が参加

山下市長 ①支出見込額は5億1、500万円。財源は、コロナ感染症対応地方創生臨時交付金が1億6、166万円、一般財源が3億5、334万円。

- ②キャンペーン開始前の2カ月間にわたり、相談ブースを市役所に設けるとともに、広報紙などで募集した。その結果、開始前には224の参加事業者が、開始時の6月1日には602となった。4月20日と6月1日に新聞紙上で募集を行い、6月と7月にも相談ブースを再度設けたところ、終了時点の事業者数は806となった。
③利用者の居住地情報は、PayPayアプリにおけるユーザー情報であるため、自治体には非公開とされている。
④1カ月の取引限度額は、個人事業主は100万円、法人は1、000万円。ただし、過去の確定申告の内容などにより、上限を個別

に引き上げることができた。
⑤事業者ごとに決められた1カ月ごとの取引限度額を超えた場合、一時的に決済が利用できなくなるものの周知が徹底されていなかった。
⑥現在、継続の予定はない。
⑦マイナンバーカード取得者および申請者に1万円の商品券を交付する「がんばろう笛吹！応援商品券事業」を予定している。今後も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を注視しながら、さまざまな支援策を検討する。





公明党

渡辺 清美 議員

問 気象庁などによる地域防災支援は

渡辺清美議員 ①笛吹市と地元気象台との連携は。
②情報の受け手である自治体としても、専門家を育成することが大切だ。内閣府、消防庁が開催する研修や訓練への参加は。

答 専用回線で情報提供を受ける

山下市長 ①今年度から、甲府地方気象台は、大雨注意報や警報などが見込まれる場合、自治体専用の防災メールにより情報提供している。地域ごとに予報官を配置し、県内市町村の災害特性を把握して、的確なアドバイスを行っている。予報官は、平時の定期的な気象情報提供はもとより、台風などによる大雨が予想さ

れる場合は、オンラインで「台風説明会」を行っている。避難情報発令の際は、自治体専用電話回線で、昼夜を問わず相談に応じている。

②内閣府では、防災スペシヤリスト養成研修を行っており、令和元年度は2人の職員が参加した。消防庁では、防災危機管理eカレッジが公開され、防災担当職員は、有事に備え、スキルアップに努めている。

問 災害時、聴覚障害者への情報伝達は

渡辺議員 災害情報は命にかかわる重要なものだが、聴覚障がい者にとっては、テレビ画面の文字や記号情報に頼らざるを得ず、アナ

ウンサーや気象の専門家などが音声で伝えている内容が伝わりにくい。

①YouTubeチャンネルを活用し、手話通訳を配置した動画配信は。

②近県自治体との手話通訳者の派遣協定は。

答 文字情報を充実させる

山下市長 ①24時間体制で手話通訳者、動画撮影と配信できる人材を確保する必要がある、市単独では難しい。市では、文字表示付き個別受信機や防災無線メールにより、避難情報などを配信している。受信機の貸与者やメール登録者の拡大に、引き続き取り組んでいく。

②災害時の手話通訳者派遣は、平成23年度に、厚生労働省からの受託事業により、財団法人 全日本ろうあ連盟が「手話通訳者等派遣調整マニュアル」を策定した。本市において、甚大災害が発生した際はこのマニュアルに沿って山梨県に派遣要請を行う。

問 企業版ふるさと納税の活用は

渡辺議員 地域活性化に貢献した企業の税負担を軽くする企業版ふるさと納税制度を使い、企業から寄付を集めようとする自治体が増えている。笛吹市としての推進策は。

答 積極的に取り組む

山下市長 本市は、令和2

年度に地域再生計画を作成し、国の認定を受け企業版ふるさと納税制度に取り組んでいる。今後は、さらに多くの寄付につながるよう、私が自ら本市にゆかりのある企業へ伺い、寄付をお願いするとともに、地方創生に取り組み自治体と、地域への貢献などを検討している企業を結びつけるマッチングサイトへ登録するなどして、積極的にPRしていく。



笛政クラブ

古屋 始芳 議員

問 大雨災害への対応は

古屋始芳議員 ①地区防災計画策定支援の進捗は。
②近年の大雨被害を踏まえ、市の防災体制は。
③市民の生命を守るための避難情報発令のタイミングは。
④内水氾濫対策は。

答 モデル地区で防災計画策定支援

山下市長 ①今年度は、笛吹高校を指定避難所とする5つの行政区をモデル地区に選定し、10月からワークショップを開催する。現在、

策定を支援する事業者を決
定し、準備している。

②台風の接近や線状降水帯
が発生するおそれがある場
合は、市の配備体制を注意
報段階であつても、警報体
制とするなど、1段階上の
体制で臨むよう運用してい
る。

③令和3年3月、気象庁は
洪水や浸水、土砂災害の危
険度分布を地図上で確認で
きるシステム「キキクル」
の運用を始めた。県や市の
雨量計および国や県の河川
水位情報などを参照し、甲
府地方気象台の予報官の意
見を聞きながら、空振りを
おそれることなく、早い段
階で避難情報を発令する。

④石和町地内で県が行う洪
川の改修に併せ、排水機場
を改修した。境川町大坪地
区の大坪尻川の排水対策施
設を整備している。

問 国土強靱化の
取り組みは

古屋議員 毎年のように全
国各地で自然災害が発生し
、甚大な被害をもたらしてい
る。本市の国土強靱化の取

り組みは。

答 アクシヨンプラン
を策定する

山下市長 市の国土強靱化
地域計画で掲げた施策を推
進するため、今年度、目標
値や取組内容を定めたアク
シヨンプランを策定する。

問 多目的芝生
グラウンド整備は

古屋議員 ①今後の進め方
は。

②競技団体の利用意向の把
握は。
③スポーツツーリズムとし
ての活用は。

答 基本計画を策定する

山下市長 ①7月に委託契
約した事業者の支援を受け、
基本計画を策定する。多目
的芝生グラウンド検討委員
会に基本計画策定に必要な
調査検討を諮問し、計画策
定の進捗に応じて、議会全
員協議会に説明する。

②サッカー、ラグビー、グ
ラウンドゴルフなどの協会
や加盟競技団体にアンケー

ト調査した。

③大会開催や合宿練習の誘
致などにつながるため、県
や市のスポーツ協会、石和
温泉旅館協同組合、旅行代
理店、県内のプロスポーツ
チームを対象に、グラウン
ド利用の可能性などについ
て、聞き取り調査を行った。
基本計画策定の検討に活用
するとともに、整備後にお
ける大会の開催や合宿練習
の誘致などの参考にしてい
きたい。

問 笛吹みんなの広場
の活用は

古屋議員 ①整備の進捗状
況は。

②石和・春日居温泉郷と連
携させた観光資源としての
活用は。
③市民や各種団体などの利
用は。
④駅、広場、温泉街をつな
ぐ交通手段の整備は。

答 11月20日オープニング
イベントを予定

山下市長 ①屋根施設はお
おむね完了し、外構部分な
どを施工している。11月12

日に竣工式、20日にオープ
ニングイベントを予定して
いる。

②温泉郷エリアを周遊でき
る仕組みづくりに取り組ん
でいる。観光庁の補助金を
活用し、隣接したNTT施
設壁面に映像を映すプロジ
ェクションマッピングや、
桜温泉通りのイルミネーシ
ョンを一新するライトアッ
プを計画している。観光客
をターゲットにした、定期
的な朝市などのイベント実
施を考えている。

③市としても、イベント利
用を数多く企画するととも
に、多様な主体が行うイベ
ントの会場として利用して
いただきたい。
④デマンド交通の運行実証
実験を予定している。

問 今後のコロナ
感染対策は

古屋議員 ①市内の感染状
況は。

②まん延防止等重点措置適
用期間中の小中学校と保育
所での対応は。
③イベントや集会の開催、
公共施設の利用制限は。

④ワクチン接種の状況は。
⑤地域経済への影響と対策
は。

答 1万円の商品券
配布を予定

山下市長 ①県情報をもとに
市独自で集計した。7月が35
人、8月が177人、9月2日
までの累計で358人。

②小学校は、クラスを2つ
に分け、別々の教室で行う
分割授業の実施。中学校は、
1日おきの分散登校を実施。
保育所は、早めのお迎えな
ど可能な限りの協力をお願
いした。

③会議の延期・中止、施設
の休館などの措置を講じた。
④9月15日現在、2回目の
接種率は、65歳以上の高齢
者が89・6%、全体が48・
6%。
⑤新型コロナウイルスの感
染拡大の影響は、今後も続
くものと考ええる。中小事業
者支援のため実施した消費
喚起キャンペーンは、決済
総額が約19億円となり、地
域経済の活性化に大きく寄
与できたものと考えている。

マイナンバーカードの普及

拡大を目的とした、マイナンバーカード取得者および申請者に1万円の商品券を

交付する「がんばろう笛吹き！応援商品券事業」を予定している。



日本共産党

渡辺 正秀 議員

問 菅自民党総裁退陣表明の所感は

渡辺正秀議員 ①菅政権は医療体制確保に適切な対応をとらず、直近では、「自宅療養を基本とする」などと専門家や国民の期待を踏みにじり、コロナ感染拡大をもたらし、「国はコロナ感染状況に応じて、適切に対応してきた」という市の考えは今回同様か。

国の計画どおり7月までには、65歳以上の高齢者への接種も順調に行われ、11月までには希望者全員への接種が終了する見込みも立っていることから、適切に対応していると考えている。

答 コロナ対応は適切

山下市長 ①当初懸念されたワクチン確保も不足することなく分配されており、

問 多目的芝生グラウンド計画は

渡辺議員 ①グラウンド整備の基本構想について。

ア、まずは市が基本構想をつくるべきではなかったか。イ、その上で、基本構想を議会と市民に示すべきではなかったか。

ウ、必要性・目的、規模、事業費の大枠、費用対効果の見込みは。

②計画策定支援業務委託プロポーザルについて。

ア、コンサルへの丸投げではないのか。

イ、複数社へ応募を促す努力は。応募の打診、参加申込期間が5日間と短いことは問題では。

ウ、(1)ランドブレイン社の企画提案書は、実質的にサッカー場整備ではないか。

(2)利用料引き上げでスポーツを楽しむ機会を狭めることにならないか。

(3)整備事業費の限度額は。

③市民への説明や意見を募る機会を。

答 スポーツ環境を向上させる

山下市長 ①ア、イ、多目的芝生グラウンド整備については、スポーツ競技団体や学校・保育関係など合計

15団体から18の要望書が出されている。市サッカー協会からは3、285人、市ラグビー協会からは1、289人、笛吹青年会議所からは2、500人の署名を添えた要望書の提出があった。多くの団体からの要望を重く受け止め、基本計画の策定に着手することに

した。策定にあたっては、グラウンド整備の必要性や課題などを整理した上で、整備方針、施設の規模や導入する機能、建設候補地の選定などについて検討する。

基本構想に相当する部分も含めて、基本計画として策定する。計画策定の進捗に応じて、議会の全員協議会において検討内容を説明する。来年1月ごろをめどに、候補地などについて市民説明会を開く予定。

ウ、規模と事業費は基本計画策定の中で検討する。

②ア、計画策定の主体は市であり、事業者はあくまでも必要な支援を行うものである。

イ、ホームページで関係書類を掲載、公示している。

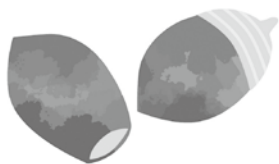
入札公告情報サービスを有償で利用している事業者も相当数あると推測されるため、申込期間が短かったとは考えていない。

ウ、(1)事業者選定のための資料に過ぎない。

(2)スポーツ少年団が行う事業・活動などに伴う金銭的な負担軽減のため、笛吹市社会体育施設条例施行規則および笛吹市学校施設の開放に関する条例施行規則において、令和4年度末まで全額免除としている。

(3)施設規模が決まっていない現時点で示すことはできない。

③整備に向けた基本計画の策定が一定程度進み、市民に示せる段階になったら、規模や整備の候補地について説明の機会を設けたい。来年1月ころを予定している。



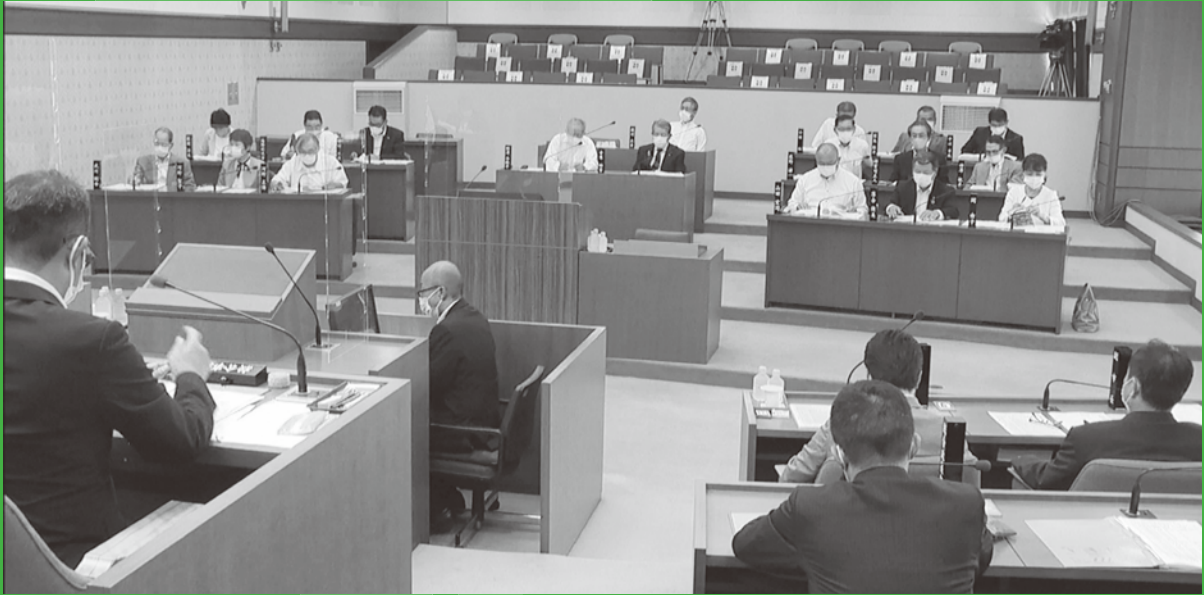
9月
定例議会

市民の声

質疑および一般質問

本会議では、6人の議員が質疑および一般質問をしました。

以下は質疑・質問と答弁を要約したものです。



一般質問



中川秀哉議員
(公明党)

問 若年層向けワクチン接種体制は

答 子ども専用の予約枠設ける

中川秀哉議員 ①コロナウイルス新規感染者推移と要因は。

②新学期以降の感染症予防対策は。

③拡大を食い止める市の取り組みは。

④国・県教委など関係機関と連携は。

⑤市内在住の児童・生徒や受験生などの感染拡大防止対策の計画は。

西海保健福祉部長 ①居住地が笛吹市にある感染者の数は、9月2日までの累計で358人。4月以降は、10代、20代の若い世代の割合が増加しており、親族間の感染が増えている。

②小学校はクラスを2グループに分け、2カ所に分割して授業。中学校はクラスを2グループに分け1日おきの分散登校を実施。笛吹高校は3日のうち1日をオンライン授業とする分散登校を実施。

③ワクチンの集団接種に18歳以下を対象にした専用枠を設けた。また、チラシの全戸配布を実施し、ワクチン接種について周知を図る。

④感染状況を共有し感染拡大の防止に努める。

⑤16カ所の医療機関で子ども専用の予約枠を設けた。県外への通勤や通

学者には感染症検査費用を補助。

問 庁内WEB会議の導入は

中川議員 ①平時の庁内オンライン会議の計画は。

②防災訓練の運営、WEB会議は。

③関係機関とのWEB会議計画は。

④各種式典のWEB参加導入計画は。

答 有用性見極め検討する

返田総合政策部長 ①定期的な庁内会議は、WEB会議の計画はない。

②市長が県外出張中に災害発生した場合等を想定し、防災訓練の中でWEB会議を活用した災害対策本部

の運営検証を行い、活用方法を検討。

③議員との会議は、WEB会議の活用が有効の場合、議員とも協議して

導入を検討。区長会、各種諮問機関

等の会議は、活用の有用性を見極めながら慎重に検討。

④現在、市制祭などの式典をオンラインで行う計画はないが、今後はオンラインも検討。



落合俊美議員
(新風会)

問 通学路危険箇所点検と対応は

答 緊急点検実施し情報共有

落合俊美議員 ①どのような体制でいつ、どこを実施したか。

②点検後の危険箇所数と内容は。

③危険箇所への対応は。

④危険個所の注意喚起、周知は。

赤尾教育部長 ①7月21日に市長、教育委員会、建設部等関係職員が、緊急に対応が必要と思われる11カ所の緊急点検を実施。

②緊急点検と合同点検を合わせて121カ所。消えかかっている白線やグリーンベルトなどが多い。

③緊急に対策が必要な箇所は対応済みまたは対応中。早急に対応が必要な箇所は9月議会で補正予算を計上。

④安全教育を計画的に実施、登校指導時に児童生徒に注意喚起、保護者や地域の見守り隊に協力依頼など。

問 鳥獣害対策は

落合議員 ①アライグマ、ハクビシンが増加している。捕獲の推移は。

②電気柵設置補助金の周知は。

③アライグマ捕獲報奨金の考えは。

④農作物対策の考え方は。

答 電気柵設置に補助金交付

小宮山産業観光部長 ①アライグマは平成30年度33頭、令和元年度37頭、2年度41頭と増加傾向。ハクビシンは平成30年度33頭、令和元年度24頭、2年度26頭、年間30頭前後で推移している。

②広報ふえふき4月号で農林関係の補助および助成事業を紹介。有害鳥獣被害防止電気柵等設置費補助金の周知を行い、今年度は8月末時点で、24件の申請を受け付けている。

③今後の課題として検討する。

④猟友会活動が維持されるよう、狩猟免許取得や更新費用を補助し、有害鳥獣から農作物を守る電気柵等の設置に対し、補助金を交付している。今後有害鳥獣被害の抑止に向けた対策を実施。



山田宏司議員
(新風会)

問 小学校の災害時避難マニユアルは

答 避難行動共有し災害に備える

山田宏司議員 ①児童に震度5以上の地震かどうかをどう判断させるか。

②地域により違う危険性を、児童に周知できているか。

③過去の災害教訓、児童・保護者・教職員の共有は。

赤尾教育部長 ①立つことも歩くことも難しい状態と説明。起震車で震度5を体験する学校もある。

②学校や地域の実情を踏まえ、災害を想定した危機管理マニユアルを作成、水害や土砂災害を想定した避難訓練を実施している。

③学校では、保護者への引き渡し訓練時に過去の災害の話共有。児童、保護者、教職員が連携し防災マニユアル等を作成、避難行動を共有して災害に備えている学校もある。

問 農産物の種苗保護は

山田議員 笛吹市では、桃やブドウなど農産物の生産が盛んで、重要な産業となっている。

①種苗法だけでは流出は防げない。持ち出しや譲渡規制、海外での種苗

登録など、マニユアル作成の検討を。

答 改正種苗法の内容を周知

小宮山産業観光部長 ①国は育成者権を守り、国内種苗の適切な流通管理を行うことで、海外流出を防ぐとしている。種苗法の改正の内容や法律に違反した場合の罰則などを周知し、海外からの研修や視察を受けられる際のマニユアル作成も、関係機関と連携し検討する。

②他産地との差別化を図り、価値を高めるブランド化は大変重要。地域名と商品名を組み合わせた地域団体商標や、育て上げたブランドを強力に保護する地理的表示といった制度を活用することが必要と考える。農協など関係機関と連携し、これらの制度を活用しながら、笛吹ブランドの価値の向上につなげていきたい。





岡 由子議員
(新風会)

問 浸水想定区域に浸水深表示を

答 ハザードマップで周知し研究

岡由子議員 水害に備えるため、浸水想定区域に浸水深表示が必要だ。
①ハザードマップ・水害時浸水深のチェックなどが必要、勉強会を実施する考えは。

②公民館・公道・学校などに浸水深表示板の設置をする考えは。

深澤総務部長 ①出前学習会「防災の備えは万全ですか」で、ハザードマップを用い、災害時の避難行動や備蓄等を説明。今後「わが家の災害時行動計画」策定により、自宅周辺の危険性の確認、避難先の検討、非常持出品等の準備が進むと考える。
②ハザードマップを作成し、全戸配布で想定される浸水地域と浸水の深さも周知している。看板設置は、先進地の事例を参考に研究する。

問 共生社会実現、乙女温泉などの取り組みを

岡議員 がんの手術痕や治療による脱毛などで公衆浴場の利用をためらう方のための、浴場を貸切るイベント「乙女温泉」の輪が全国に広がっている。

①公共の温泉施設で取り組む考えは。
②障がい者利用の施設はあるか。

答 意義を尊重し研究する

雨宮市民環境部長 ①乳がん罹患者に限らず、障がいのある人もない人も、区別なく楽しんでいただける温泉施設を目指すことが大切と考える。乙女温泉の導入も、その意義を尊重し、福祉・健康づくり部門等の関係機関と連携し、改めて研究していきたい。

②車いす利用を前提とした、トイレ等がバリアフリー化されているスポーツ施設として、いちのみや桃の里スポーツ公園体育館、若彦路ふれあいスポーツ館、境川スポーツセンター、体育館、春日居スポーツ広場があり、ボッチャやバドミントン、卓球等の利用もできる。



野澤今朝幸議員
(無会派)

問 パートナーシップ制度導入を

答 広域的範囲で導入考えたい

野澤今朝幸議員 ハートフル・タウンを掲げる市に、導入の検討を。
①パートナーシップ制度の普及度は。
②市での検討とその内容は。
③導入に向け検討する考えは。

雨宮市民環境部長 ①110を超える自治体が導入。茨城県、群馬県、滋賀県、三重県、大阪府は県単位で導入。

②情報を収集している段階。
③「市単独ではなく、もっと広域的な範囲で導入を検討すべきものではないか」と考える。LGBTの理解を深め、他自治体の事例や関係団体の意見を参考に、制度の導入をさらに研究していきたい。

問 多目的芝生グラウンド整備は

野澤議員 大きな予算と広大な面積、長期的な工期が想定される。

①多目的グラウンド整備基本計画検討委員会の設置、委嘱委員は。
②スケジュールと検討内容は。
③過去のアリーナ建設、戦国ミュージアムの失敗の原因は。

④グラウンド整備を議会に諮るタイミングは。

答 検討委員会を開催

返田総合政策部長 ①②検討委員会は、会議開催を10月上旬から来年2月まで合計5回予定。市長から検討委員会への諮問を行った上で、グラウンド整備の必要性、整備方針の検討、導入施設・機能の検討、施設利用者の設定などを予定している。学識経験者、関係団体代表者、市職員として副市長を委員とする。
③アリーナ建設は財政悪化への懸念、戦国ミュージアムは集客力に疑義があったと推察。
④検討委員会での検討の進捗に応じ、全員協議会で説明していく。





河野智子議員
(日本共産党)

問 子どもへのコロナ対策は

答 健康観察の回数増やす

河野智子議員 ①登校・登園時の健康観察は。

- ②家族の体調不良時の対処は。
- ③子どもの発熱・体調不良時対応は。
- ④子どもの不安な気持ちに寄り添うための対応は

赤尾教育部長

①検温カードをチェック後、朝の会で健康観察、保護者の聞き取りも。

- ②小中学校では、家族に発熱等がある場合、登校見合わせを依頼。家庭での保育が困難な場合は、他の園児との接触を控え、通常より検温、健康観察の回数を増やして保育する。
- ③速やかに保護者に連絡し、必要に応じて医療機関の受診を依頼。
- ④教職員が、子どもたちの心の変化を見逃さないよう注意深く観察し、情報を共有するとともに、声かけや心配事に耳を傾けるなど、きめ細かな支援を行っている。

問 交通弱者にさらなる支援を

河野議員 ①高齢者外出支援事業対象者拡大を。

問 子どもへのコロナ対策は

答 健康観察の回数増やす

②生活保護受給者の通院移送費の給付要件と、手続き方法は。

- ③移動手段・移動支援構築指針を策定し、指針に沿うというが、どのような形で検討していくのか。

答 高齢者の移動手段を検討

返田総合政策部長 ①地域全体で高齢者を支える仕組みづくりを進める

「生活支援体制整備事業」で、高齢者の移動支援を検討していきたい。

- ②主治医および市の嘱託医が必要と認められた場合で、給付金額は傷病の状態に応じ、療養に必要な最小限の日数分を決定する。生活援護課窓口に申請し、ケースワーカーが作成した書類を嘱託医が確認し、市が給付の可否を決定する。

③笛吹市移動手段・移動支援構築指針に基づき、公共交通網の再編、公共交通網を補完する取組、移動支援の整理、収益の改善について具体的な方向を示し、地域や関係機関と調整した上で、笛吹市地域公共交通会議で協議する。

追加議案

○令和3年度笛吹市一般会計補正予算(第6号)

令和3年度笛吹市一般会計補正予算(第5号)で提案された「がんばろう!笛吹応援商品券事業」については、市長から訂正議案が提出され可決しました。新たな事業として「ハートフルタウン笛吹!商品券事業」を含む新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策として市民や事業者を支援するための補正予算が最終日に提案され、全員一致で可決しました。

補正予算のおもな事業

ハートフルタウン笛吹!商品券事業 7億6、334万円

市内の店舗・事業所で使用できる1万円分の商品券を、全市民に配布する事業です。

笛吹市旅客関連事業者支援金給付事業 3、040万円

笛吹市観光関連事業者支援金給付事業 2、550万円

まん延防止等重点措置による外出自粛などで厳しい経営状況の続く市内のタクシー・貸切バスなどの旅客関連事業者、観光関連事業者に支援金を支給する事業です。

笛吹市高齢者福祉施設支援金給付事業 1、540万円

笛吹市障害福祉施設支援金給付事業 630万円

市内の高齢者福祉事業所、障害福祉事業所に支援金を支給する事業です。

総務常任委員会

9月27日から10月1日、10月5日の6日間委員会を開催。付託された令和3年度一般会計補正予算、令和2年度一般会計歳入歳出決算認定、条例の一部改正3件、変更契約の締結1件、契約の締結2件、計画の策定1件を審査し、原案の通り可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次の通り。

委員長	神宮司正人	副委員長	河野 正博
委員	神澤 敏美	荻野 謙一	
	中川 秀哉	渡辺 正秀	

〈総務部所管〉

Q 固定資産税免除で、地域特性を生かした小水力発電事業や林業は該当するか。
A 対象にならないが、木材を活用した製造業、農林水産物等販売業は対象。

【説明】

本館電源装置改修工事は、非常用発電機を更新し、72時間以上稼働できるようにするため、必要な整備をおこなうための補正であると説明があった。

Q 総事業費はどのくらいか、工事終了はいつか。
A 総事業費は1億3百万3千円。令和4年3月終了。

Q 市税に対する収納率の状況およびコロナ禍での滞納者への対応は。
A 特定の税目の徴収率が極端に低い市の特殊事情もあり、県下で27番目の最下位であったが、督促・催告を行い、担当職員一丸となり一定の

成果を得た。

Q 水替工、植栽工および埋設物の撤去作業の増工による変更契約で、埋設物があることは分かっていたか。
A 事前に分かっていたものではなく、工事の進捗に伴い、支障になる埋設物を撤去したものの。

Q 防災面から市民に対してさらなる周知を。
A 災害時に自衛隊の活動拠点となることを見据え、整備決定の段階から自衛隊の協力を得ている。

Q 過疎地域持続的発展計画の中で変更はあるか。
A 芦川町区域で必要な事業を実施の場合、変更等を行わなければならない。

Q 浅川中学校校長寿命化改修工事で、国の補助金の割合は。
A 工事費の3分の1まで。耐力度調査で一定の基準を上回り、補助金を有効に利用できる長寿命化改修工事を選択した。

Q 国勢調査事業で市内の調査区は何区画あり、調査員等の総動員数は何人か。
A 市内で512区、調査員は延べ329人、指導員は49人、兼務はしていない。

Q 救急自動車の入れかえの計画は。
A 消防本部の車両更新計画に基づき更新。令和2年度は救急自動車を2台入れ替えた。令和4年度は計画上では1台更新する予定



みんなの広場視察説明の様子

Q 緊急対応が必要な工事箇所はこれですべてか。
A 各学校PTAから毎年要望を提出してもらい、現時点で緊急対応が必要な箇所すべての整備を行う。

Q 各種申請の受付や処理を行う窓口の職員配置は適正か。
A 年間申請件数は6万3千件超、人員の適正配置には、行政改革担当部署とも協議し検討。

Q 消防本部の車両更新計画に基づき更新。令和2年度は救急自動車を2台入れ替えた。令和4年度は計画上では1台更新する予定

Q 令和3年請願第1号「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める請願」は、継続審査となった。

〈市民環境部所管〉
【説明】
 千葉県八街市の事故を受

〈総合政策部所管〉
【説明】
 継続審査

教育厚生常任委員会

委員長	武川 則幸	副委員長	河野 智子
委員	保坂 利定	古屋 始芳	
	野澤今朝幸	渡辺 清美	

9月27日から10月1日、10月5日の6日間委員会を開催。付託された令和3年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、令和2年度一般会計歳入歳出決算認定、特別会計決算認定を審査し、原案の通り可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次の通り。

〈保健福祉部所管〉

- Q** 身寄りのない人の埋葬事務で、一人暮らしの親族がいらない方が増えているか。
- A** 調査はしていないが、市の埋葬実績は増えている。今後も増える見込み。
- Q** ふえふき子ども食料・生活用品支援ネットワーク事業で、実際に現場で活動を予定している団体はどのような団体か。
- A** 社会福祉協議会、子ども食堂を行っている団体、フードパントリーを行っている団体、地域の子どもを対象に活動している団体など。
- Q** 在宅福祉推進事業、配食サービス事業で、高齢者見守り事業中に何か異変があった場合の対応は。
- A** 委託業者が手渡しで配食サービスを行い、対象者に会えない等の異変があった場合、市役所から家族やケアマネジャーに連絡を取り安否確認を依頼する。家族に連絡が取れない場合は、市職員が直接自宅を訪問し安否確認を行っている。
- Q** 一般介護予防事業費で、

介護予防普及啓発事業の執行率が37・9%の理由は。

A 年度前半に各種事業が開催できず執行率が下がった。年度後半は、感染対策を行い事業を開催した。

Q 障害福祉施設支援金給付事業の各施設利用人数は。

A 事業により違いがある。放課後等デイサービスは10人程度が多く、就労支援施設関係や生活介護関係などは、20から30人規模の利用者。

〈市民環境部所管〉

- Q** 衛生対策事業で不法投棄パトロール員の実績は。
- A** 不法投棄パトロール員は1人で、毎日市内を巡回し、不法投棄現場の写真と日報を提出。令和2年度の実績は、5、660kgの不法投棄物を回収した。
- Q** 自動車騒音常時監視事業で、騒音の監視は市内のどの地点で何箇所か。
- A** 測定箇所は国道県道を含む市内主要道路を、5年間のローリングで実施計画を組んでおり、令和2年度は15カ所の測定を行った。

〈教育委員会所管〉

- Q** 小中学校ICT環境維持整備事業、教師用タブレット端末購入について、教師の数に対してタブレット端末がどれぐらい配置されているのか。
- A** 現在300台が配置されており、今回の補正で20台を補充する。教職員については、450人程度在籍しているが、これには講師や学校サポーター等も含まれているため、常時タブレットを使用して授業をする教員のことを考慮すれば、320台から330台あれば賄えると考えている。
- Q** 小中学校学校教育事業、学力向上支援スタッフ追加配置事業について、41人を追加配置するのは困難ではなかったか。
- A** 各学校に追加教員を県が配置しているが、

勤務時間が半日のため、残りの半日について市が学力向上支援スタッフとして再配置するという方法をとっている。

Q 学力向上支援スタッフとスクール・サポルト・スタッフとの違いは何か。

A 前者は直接子どもへの学習支援に関わる仕事を行っており、後者は直接子どもに関わらない事務仕事や、環境整備などを行っている。両者とも教員免許は必要ない。



委員会審査風景

建設経済常任委員会

委員長	小林 始	副委員長	山田 宏司
委員	岡 由子	落合 俊美	
	中村 正彦	海野利比古	
	前島 敏彦		

9月27日から10月1日、10月5日の6日間委員会を開催。付託された令和3年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、事業会計補正予算令和2年度一般会計歳入歳出決算認定、特別会計決算認定、事業会計決算認定を審査し、原案の通り可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次の通り。

〈建設部所管〉

Q 笛吹みんなの広場の防犯やセキュリティは、どんな考えを持っているか。

A 運用していく中で、よりよい公園となるよう継続して考えていきたい。

【意見】

防犯、子どもの安全、公園の管理、周辺への騒音対策など、みんなの広場の運営を今後もよく研究し、よりよいものとしてもらいたい。

Q 今後の指定管理は。

A 当面は直営で運営。その後、運営状況を確認し指定管理を検討する予定。

Q 過去15年にわたる市営住宅使用料の収納状況は。

A 3カ月滞納した入居者には連帯保証人にも通知を送り、滞納額の縮減に努めている。令和2年度分の滞納金額は9月28日の段階で10、400円。

〈産業観光部所管〉

Q 農業農村基盤整備事業、土地改良施設維持管理事業の需用費、修繕料は。

A 7月3日の豪雨で石積

みの崩落、水路等の詰まりなど市内14カ所の被災箇所があり、早急に対応すべき箇所は当初予算で計上した。修繕しきれなかった箇所の工事と、年度末までの工事等修繕料の補正である。

Q 内容の詳細説明を。

A 14カ所のうち対応してあるものは8カ所、残り6カ所は今回の補正で行う。

Q 笛吹市企業立地促進事業助成金は。

A 該当事業者が操業前に事業認定申請を行い、操業後1年以内に建物、ライン、空調等費用の実績を交付申請

請時に添え、投下固定資産額が3億円以上の投資、増加する新規雇用が10人以上のうち地元雇用の3割以上が必要。助成率は投下固定資産額の1%を適用し、助成額は限度額となる6千万円。

【意見】

トイレを常にきれいにしておくことが、観光振興、多くの観光客が訪れることに寄与する。トイレのきれいな維持管理方法を検討し、観光振興に生かしてほしい。

【意見】

笛吹市旅客関連事業者支援給付事業および笛吹市観

光関連事業者支援給付事業については、交付に当たって不正受給が行われないよう、必要書類等で確認し、困窮している事業者の助けになるよう事業を進めてほしい。

〈公営企業部所管〉

Q 資本的収入および支出のうち、委託料、砂原配水場実施設計業務委託の詳細は。

A 用地測量・地質調査・詳細設計・不動産鑑定を含め、それぞれ個別に発注する。

Q 農業集落排水事業費の施設維持管理費で、10節需要費の執行率が低い理由は。

A 緊急修繕で対応したものが少なかったため、執行率が低くなった。

Q 峡東地域広域水道企業団への受水費は。

A 単価は1m³当たり、105円、日量は7、200t。供給単価・給水原価は、1m³当たりの供給単価151・6円、給水原価は186・7円、販売利益はマイナス35・1円。



みんなの広場視察

秋晴れの空の下で がんばる子どもたち



9月11日、芦川保育所（在園児3人）・芦川小学校（在校児童8人）による合同運動会が行われました。晴天の下、大自然の中で、園児・児童たちが日ごろの練習の成果を大いに発揮しました。

人事

春日居地区選任議員の任期が満了したため、それぞれ組合規約第6条の規定に基づき、議会の選挙により選任されました。

八幡山恩賜県有財産保護組合議会議員

関 正太郎 笛吹市春日居町桑戸
茂手木卓也 笛吹市春日居町桑戸

任期 令和6年11月24日まで

神峰山恩賜県有財産保護組合議会議員

田中 卓 笛吹市春日居町桑戸
飯島 清孝 笛吹市春日居町桑戸
田中 貢 笛吹市春日居町桑戸
青木 貴幸 笛吹市春日居町桑戸

任期 令和7年3月31日まで

受付期間延長

議会報告会にかかわる
市民の皆さまからの政策提案
ご意見を募集します

市議会への政策提案、ご意見をお寄せ
ください。

用紙は市役所本館・保健福祉館・市民
窓口館総合案内、各支所、ホームページ、
議会だより67号にありますので、ご利用
ください。

受付締切 令和3年11月30日（火）



笛吹市は「俳句の聖地」



黒坂小町川
飯田 秀實

俳人飯田蛇笏、龍太が暮らした笛吹市は俳句をする人たちにとって「俳句の聖地」と親しまれている。2人の俳人は笛吹市境川の地に根をおろし、大正、昭和、平成と俳壇を牽引した。二人が暮らした環境は今もそのまま維持されている。蛇笏、龍太を慕い笛吹市を訪ねる全国の俳人は、二人が遺した

作品の背景や四季の自然を五感で確認している。

笛吹市は古くから俳句が盛んで、各地で俳句の会が開かれていた。その文化の中で蛇笏、龍太が育った。

笛吹市は毎年全国小中学生俳句会を開催し、市内から多くの作品が寄せられている。また各小中学校で年間を通じて俳句教室を開くなど、小さい時から俳句に親しむ取り組みを行っている。俳句に向き合う笛吹市の姿を全国の俳人や愛好者は羨望の眼差しで見ている。「さすがに『聖地』の子は違う」と。こうした笛吹市の取り組みは全国に誇れるものだと思う。

「笑顔」の花咲く 地域を目指して



成田町御坂
三枝さん

私は、笛吹市で生まれ育ち、建設業を営む両親の背中を追い設計士を目指しましたが、これが「波瀾万丈」な人生の幕開けでした。

しかしそんな中、私が常に感じていたこと。それは「人に助けられ、人に

支えられて生きている」と言うこと。

子育ても一段落し、これからは地域への恩返しをという思いで、2つのボランティア団体を設立。人と人とを結び、地域と行政を結ぶ団体として「結の家ー笛吹」。

また防災・減災に特化した団体として「防災ブレイメン」。こちらでは幼児期から防災に対する備えを分かりやすく伝え、興味をもってもらえるよう「防災子ども食堂」や「防災ジュニアリーダーの育成」を実施しています。

本業の傍ら、地域に1本でも多くの「笑顔」の花が咲くよう、日々微力ながら活動させていただいております。

表紙説明

笛吹市で農業を！

- ・大西さんご夫婦（御坂町下黒駒）
- ・関本さん（石和町中川）
- ・笛吹高校の皆さん
- ・埴原さん（御坂町成田）

編集後記

「そんなことやつてはダメだよ。」お母さんが子どもを注意する時、よく使いますよね。「ダメ」、漢字では「駄目」と書きます。

この「駄目」、囲碁が語源です。囲碁は4000年くらい前、中国で生まれました。白と黒の石を使い、陣地の大きさを争うゲームです。

陣地の大きさは、1目、2目と数えます。広い陣地を囲ったほうが勝ちとなります。どちらの陣地でもない部分、つまりあってもなくてもなんの意味のない部分を「駄目」と言います。これが、広く一般に浸透し、無駄なこと、愚かな行動を注意するとき、「駄目」と言うようになりました。

議会だより、「駄目」出しをされないようがんばります。

議会広報編集委員会

委員 河野 正博